

2018 年度
(第 4 期)
事 業 報 告 書

自 2018 年 1 月 1 日

至 2018 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2018 年度（第 4 期）事業報告書

1. 事業の概況

当法人は、医学・薬学・看護学・社会福祉学の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者および介護福祉従事者の育成を支援することにより、地域医療を振興し、以って、国民とりわけ高齢者の健康と福祉の増進に寄与することを目的に掲げております。

2025 年には団塊の世代が全て 75 歳以上となり、さらに、2035 年には団塊ジュニアが 65 歳以上となることから、高齢者の全人口に占める割合がますます高まっていくことが予想されており、国民とりわけ高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を継続することができる環境を整えるに際して、地域医療の振興の持つ意味は、医療・介護サービスの提供体制の構築に止まらず、健康の保持増進や介護予防といった健康寿命の延伸に資する活動、そして地域共生社会の実現の領域にまで広がりを見せております。

このような状況のなかで、当法人は、当事業年度において、以下の事業を実施いたしました。

(1) 助成・褒賞事業（公 1）

助成・褒賞事業では、定款第 4 条第 1 項第 1 号に定める「地域医療の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞」として、杉浦地域医療振興助成（以下「杉浦助成」といいます。）と杉浦地域医療振興賞（以下「杉浦賞」といいます。）の授与を以下のとおり実施いたしました。

A. 第 7 回杉浦地域医療振興助成

| | |
|---------|---|
| 助成の対象 | 地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体で、今後より有意義な活動や研究の成果が期待されるもの |
| 募集・選考結果 | 募集期間 : 2018 年 1 月 1 日から同年 2 月 28 日まで 応募数 : 139 件（研究分野 81 件、活動分野 58 件） 助成授与数 : 19 件（研究分野 10 件、活動分野 9 件） 助成額 : 総額 19,254,500 円 （研究分野 14,875,000 円、活動分野 4,379,500 円） |
| 授与式等 | 2018 年 7 月 12 日に帝国ホテル東京にて、第 7 回杉浦助成の授与式と第 6 回杉浦助成の成果発表会を実施いたしました。 |

B. 第 7 回杉浦地域医療振興賞

| | |
|---------|---|
| 褒賞対象 | 地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人 |
| 募集・選考結果 | 募集期間 : 2017 年 10 月 1 日から同年 12 月 31 日まで 応募数 : 27 編 褒賞授与数 : 6 編（うち 1 編は特別褒賞：表彰楯及び記念品を贈呈） 褒賞内容 : 表彰盾及び副賞 2,000,000 円（総額 10,000,000 円） |
| 授与式 | 2018 年 7 月 12 日に帝国ホテル東京にて、第 7 回杉浦賞の授与式を実施いたしました。 |

第7回杉浦地域医療振興助成の選考委員は、以下のとおりです。

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|-----|--------|--|
| 委員長 | 伴 信太郎 | 愛知医科大学 医学教育センター 特命教授(センター長) シミュレーションセンター センター長 |
| 委員 | 網岡 克雄 | 金城学院大学 薬学部 社会薬学 教授 |
| 委員 | 雨師 みよ子 | 一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会 副会長 |
| 委員 | 安藤 明夫 | 中日新聞社 編集委員(医療担当) |
| 委員 | 安東 直紀 | 宮津市役所 理事/元 京都大学 大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット 特定准教授 |
| 委員 | 上野 桂子 | 社会福祉法人聖隷福祉事業団 監事/一般社団法人全国訪問看護事業協会 副会長 |
| 委員 | 遠藤 英俊 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長・内科総合診療部長 |
| 委員 | 大原 弘隆 | 名古屋市立大学大学院 地域医療教育学 教授/名古屋市立大学病院 総合内科・総合診療科 部長 |
| 委員 | 齋藤 訓子 | 公益社団法人日本看護協会 副会長 |
| 委員 | 澤登 久雄 | 社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長/おおた高齢者見守りネットワーク 発起人 |
| 委員 | 塩川 満 | 総合病院聖隷横浜病院 薬剤部長 |
| 委員 | 白澤 政和 | 桜美林大学大学院老年学研究科 老年学専攻 教授/日本学術会議会員 |
| 委員 | 高橋 朗 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部長 |
| 委員 | 高瀬 義昌 | 医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長/公益財団法人日米医学医療交流財団 理事 |
| 委員 | 田中 雅子 | 社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 教授 |
| 委員 | 平井 みどり | 兵庫県赤十字血液センター センター長 |
| 委員 | 平野 隆之 | 日本福祉大学 副学長 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 |
| 委員 | 山中 崇 | 東京大学 医学部 在宅医療学拠点 特任准教授 |

(注) 五十音順で記載しております。

第7回杉浦地域医療振興賞の審査委員は、以下のとおりです。

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|-----|-------|---------------------------------------|
| 委員長 | 大島 伸一 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長/日本福祉大学 常務理事 |
| 委員 | 秋山 弘子 | 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 |
| 委員 | 柴田 博 | 桜美林大学 名誉教授・招聘教授 |
| 委員 | 辻 哲夫 | 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 |

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（助成・褒賞事業）

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 |
|-------------------------|-------------|-------------|-----------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 雑 収 益 | 0 | 1,274,235 | 1,274,235 |
| そ の 他 雑 収 益 | 0 | 1,274,235 | 1,274,235 |
| 経常収益計 | 0 | 1,274,235 | 1,274,235 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事 業 費 | 39,761,440 | 39,587,152 | △174,288 |
| 消 耗 品 費 | 25,000 | 39,490 | 14,490 |
| 印 刷 製 本 費 | 1,690,000 | 1,546,421 | △143,579 |
| そ の 他 | 1,690,000 | 1,546,421 | △143,579 |
| 諸 謝 金 | 1,750,000 | 1,000,000 | △750,000 |
| 選 考 委 員 謝 礼 | 1,750,000 | 1,000,000 | △750,000 |
| 支 払 手 数 料 | 0 | 6,098 | 6,098 |
| そ の 他 | 0 | 6,098 | 6,098 |
| 租 税 公 課 | 593,440 | 690,864 | 97,424 |
| 支 払 助 成 金 | 20,000,000 | 19,254,500 | △745,500 |
| 支 払 寄 付 金 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 |
| 広 告 宣 伝 費 | 3,000 | 259,354 | 256,354 |
| 会 議 費 | 3,760,000 | 4,839,234 | 1,079,234 |
| 助 成 ・ 褒 賞 贈 呈 式 会 議 費 用 | 3,410,000 | 4,450,233 | 1,040,233 |
| 選 考 委 員 会 議 費 用 | 350,000 | 278,489 | △71,511 |
| そ の 他 | 0 | 110,512 | 110,512 |
| 旅 費 交 通 費 | 1,875,000 | 1,765,589 | △109,411 |
| 選 考 委 員 旅 費 交 通 費 | 575,000 | 438,582 | △136,418 |
| 贈 呈 式 参 加 者 旅 費 交 通 費 | 1,000,000 | 887,618 | △112,382 |
| そ の 他 | 300,000 | 439,389 | 139,389 |
| 通 信 運 搬 費 | 65,000 | 180,497 | 115,497 |
| 雑 費 | 0 | 5,105 | 5,105 |
| 経常費用計 | 39,761,440 | 39,587,152 | △174,288 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △39,761,440 | △38,312,917 | 1,448,523 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △39,761,440 | △38,312,917 | 1,448,523 |

経常収益は127万円で、これは、過年度の杉浦助成授与対象者からの余剰金返還額を雑収益に計上したものであります。

また、経常費用は3,959万円で、予算比△17万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 今回から前回の杉浦助成の活動分野の報告をパネル発表としたこと、また、今回は杉浦賞特別褒賞があったことから、会議費が予算を超過したこと（＋108万円）
- 杉浦助成で1件辞退があったこともあり、支払寄附金が予算を下回ったこと（△75万円）
- 諸謝金、印刷製本費、旅費交通費が想定を下回ったこと（△100万円）
- 広告宣伝費、通信運搬費、消耗品費、租税公課等が想定を上回ったこと（＋49万円）

(2) 調査・研究事業 (公2)

調査・研究事業では、定款第4条第1項第2号に定める「地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画」として、以下の研究会等を運営いたしました。

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

当事業年度は、都市型の看護介護医療等連携研究会を6回開催し、常に進化し続ける地域包括ケアシステムをテーマとして、その概念と実態を追究いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

| | 日 程 | 会 場 | テ ー マ | 講 師 |
|------|-----------------------|-----------------|--|---|
| 第14回 | 2018年 1月11日 (木) | ステーションコンファレンス東京 | 地方創生と地域包括ケア | 唐澤 剛 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 地方創生総括官 |
| 第15回 | 2018年 3月1日 (木) | ステーションコンファレンス東京 | ふつうに暮らせるしあわせをどう守り支えるかー地域の力が結集する産学官の地域包括ケアー | 松本 小牧 愛知県豊明市 健康福祉部 高齢者福祉課 地域ケア推進係 課長補佐 |
| 第16回 | 2018年 5月10日 (木) | ステーションコンファレンス東京 | 地域包括ケアの取り組みについて | 篠田 浩 岐阜県大垣市 福祉部 社会福祉課 課長 |
| 第17回 | 2018年 7月5日 (木) | ステーションコンファレンス東京 | 介護予防事業等を通じた予防理学療法の実用効果に関する寝屋川市との共同プロジェクトについて | 服部 真治 医療経済研究機構 研究総務部 次長 公益財団法人さわやか福祉財団 研究アドバイザー |
| 第18回 | 2018年 9月6日 (木) | ステーションコンファレンス東京 | 認知症の人がより良く生きていける社会の実現を目指す | 堀 恵子 大田区 福祉部 高齢福祉課長 |
| 第19回 | 2018年 11月8日 (木) | ステーションコンファレンス東京 | 川崎市における地域包括ケアシステムの構築 | 宮脇 護 川崎市 地域包括ケア推進室 室長 |

また、都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集 Vol.4 を希望者に377部配布いたしました。

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

| 役 名 | 氏 名 | 所 属 ・ 役 職 |
|-----|------|---------------------------|
| 座 長 | 田中 滋 | 埼玉県立大学 理事長 慶應義塾大学 名誉教授 |

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|--------|--------|--|
| 副座長 | 高瀬 義昌 | 医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事 |
| 副座長 | 宮島 渡 | 社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事／高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ 総合施設長 |
| 副座長 | 秋山 正子 | 株式会社ケアーズ 代表取締役(白十字訪問看護ステーション 統括所長／暮らしの保健室 室長) |
| アドバイザー | 齋藤 訓子 | 公益社団法人日本看護協会 副会長 |
| アドバイザー | 宮島 俊彦 | 岡山大学 客員教授 |
| アドバイザー | 森 貞述 | 特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事 |
| 会員 | 朝田 隆 | 医療法人社団創知会 メモリークリニックお茶の水 理事長／東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター 特任教授 |
| 会員 | 阿部 智子 | 訪問看護ステーションけせら 管理者 |
| 会員 | 栗田 圭一 | 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 |
| 会員 | 石山 麗子 | 国際医療福祉大学 大学院 教授 |
| 会員 | 磯村 順司 | 社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長 |
| 会員 | 板谷 匠 | 社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室 室長 リハビリステーション部 部長 |
| 会員 | 伊藤 善典 | 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授 |
| 会員 | 宇都宮 宏子 | 在宅ケア移行支援研究所 代表 |
| 会員 | 大木 一正 | 有限会社クリーン薬局 代表取締役 |
| 会員 | 大澤 光司 | 株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長 |
| 会員 | 岡田 太造 | 兵庫県立大学 大学院経営研究科 客員教授／第一生命保険株式会社 公法人部 顧問 |
| 会員 | 岡本 茂雄 | 株式会社シーディーアイ 代表取締役 |
| 会員 | 勝又 浜子 | 公益社団法人日本看護協会 専務理事 |
| 会員 | 川越 正平 | あおぞら診療所 院長 |
| 会員 | 小玉 剛 | 公益社団法人日本歯科医師会 常務理事 |
| 会員 | 後藤 恵子 | 東京理科大学 薬学部薬学科 健康心理学研究室 教授 |
| 会員 | 澤登 久雄 | 社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長／おおた高齢者見守りネットワーク 発起人 |
| 会員 | 椎名 美恵子 | 有限会社ふれすか 代表取締役社長(訪問看護ステーションみけ 管理者) |
| 会員 | 柴田 範子 | 特定非営利活動法人楽 理事長 |

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|--------|--------|---|
| 会 員 | 清水 まや | 社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室副室長 薬剤部課長 |
| 会 員 | 助川 未枝保 | 社会福祉法人六親会 船橋市三山・田喜野井地域包括支援センター センター長 |
| 会 員 | 高砂 裕子 | 一般社団法人南区医師会 南医師会訪問看護ステーション 管理者 |
| 会 員 | 高橋 紘士 | 一般財団法人高齢者住宅財団 特別顧問／東京通信大学 教授 |
| 会 員 | 竹林 洋一 | 静岡大学 創造科学技術大学院情報科学専攻 特任教授 |
| 会 員 | 東内 京一 | 埼玉県和光市保健福祉部 部長 |
| 会 員 | 長尾 和宏 | 医療法人社団裕和会 長尾クリニック 理事長 |
| 会 員 | 新田 國夫 | 医療法人社団つくし会 理事長 |
| 会 員 | 野中 久美子 | 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員 |
| 会 員 | 馬袋 秀男 | 一般社団法人「民間事業の質を高める」全国介護事業者協議会 特別理事 |
| 会 員 | 日栄 優 | 社会福祉法人京都福祉サービス協会西京事務所 所長 |
| 会 員 | 藤田 正之 | 医療法人仁医会 理事 仁医会地域包括支援センターセンター長／西尾市地域包括支援センター西尾センター長 |
| 会 員 | 藤原 佳典 | 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健健康チームリーダー・研究部長 |
| 会 員 | 舩木 良真 | 医療法人三つ葉 理事長 |
| 会 員 | 宮路 博 | 社会福祉法人京都福祉サービス協会 居宅本部 副本部長 |
| 会 員 | 山村 由美子 | 社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 こぶし24時間ケアサービスステーション リーダー |
| 会 員 | 山下 和彦 | 大阪大学 大学院医学系研究科 バイオデザイン学共同研究講座 特任教授 工学博士 |
| 会 員 | 山下 知子 | 大阪大学 大学院医学系研究科 バイオデザイン学共同研究講座 |
| 会 員 | 吉井 靖子 | 社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長 |
| 会 員 | 吉江 悟 | 東京大学高齢社会総合研究機構 一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事 |
| オブザーバー | 武井 佐代里 | 厚生労働省 老健局 振興課長 |
| オブザーバー | 尾崎 守正 | 厚生労働省 老健局 高齢支援課長 |

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 A）

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 |
|-----------------|------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 経常収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 6,857,040 | 3,790,246 | △3,066,794 |
| 印刷製本費 | 2,912,000 | 0 | △2,912,000 |
| その他 | 2,912,000 | 0 | △2,912,000 |
| 諸謝金 | 660,000 | 540,000 | △120,000 |
| セミナー講師謝礼 | 480,000 | 360,000 | △120,000 |
| その他 | 180,000 | 180,000 | 0 |
| 支払手数料 | 0 | 900 | 900 |
| その他 | 0 | 900 | 900 |
| 租税公課 | 459,040 | 240,725 | △218,315 |
| 会議費 | 1,500,000 | 1,492,591 | △7,409 |
| 研究会会議費 | 1,500,000 | 1,486,828 | △13,172 |
| その他 | 0 | 5,763 | 5,763 |
| 旅費交通費 | 1,311,000 | 1,496,313 | 185,313 |
| 研究会会員旅費交通費 | 1,080,000 | 1,228,305 | 148,305 |
| その他 | 231,000 | 268,008 | 37,008 |
| 通信運搬費 | 15,000 | 19,717 | 4,717 |
| 経常費用計 | 6,857,040 | 3,790,246 | △3,066,794 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △6,857,040 | △3,790,246 | 3,066,794 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △6,857,040 | △3,790,246 | 3,066,794 |

経常費用は 379 万円で、予算比△307 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 講演集 vol.5 の完成が翌年度となったため、これに係る印刷製本費が計上されなかったこと（△291 万円）
- 諸謝金、会議費、租税公課が想定を下回ったこと（△35 万円）
- 旅費交通費等が想定を上回ったこと（+19 万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

当事業年度は、医薬品適正使用協働研究会を6回開催し、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働を進めることを追究いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修コンテンツに活用しております。

| | 日 程 | 会 場 | テ ー マ | 講 師 |
|------|-----------------------|---------------------|-------------------------------------|--|
| 第20回 | 2018年 2月14日 (水) | ステーションコンファレンス東京 | これからの医療における場づくりの意味 | 大屋 亜希子 一般社団法人サードパス（愛称：医療“学び場”創造機構）代表理事 |
| 第21回 | 2018年 4月11日 (水) | ステーションコンファレンス東京 | 開局薬剤師の地域医療への使命とは（平成30年度診療報酬改定をふまえて） | 堀 美智子 医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー 取締役 |
| 第22回 | 2018年 6月6日 (水) | ステーションコンファレンス東京 | 全員主役の病院ポリファーマシー対策 | 仲井 培雄 医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 理事長／一般社団法人日本慢性期医療協会 常任理事 |
| 第23回 | 2018年 8月1日 (水) | ステーションコンファレンス東京 | ポリファーマシーと医療経済 | 浜田 将太 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 主任研究員 |
| 第24回 | 2018年 10月3日 (水) | ステーションコンファレンス東京 | カナダにおける薬剤師業務の変遷と現在の取組みについて | 若子 直也 株式会社オーラコンサルティング リードコンサルタント |
| 第25回 | 2018年 12月5日 (水) | TKP 東京駅前カンファレンスセンター | 医薬品を適正に使うための地域 ICT ネットワークの活用 | 舛友 一洋 白杵市医師会立コスモス病院 |

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

| 役 名 | 氏 名 | 所 属 ・ 役 職 |
|-----|--------|--|
| 座 長 | 秋下 雅弘 | 東京大学 大学院医学系研究科 加齢医学 教授／東京大学医学部附属病院 老年病科長 |
| 副座長 | 倉田 なおみ | 昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 教授 |
| 副座長 | 鈴木 裕介 | 名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 准教授 |
| 副座長 | 水上 勝義 | 筑波大学 大学院人間総合科学研究科 スポーツ健康システム・マネジメント専攻 教授 |
| 会 員 | 飯島 勝矢 | 東京大学 高齢社会総合研究機構 教授 |

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|-----|--------|---|
| 会 員 | 五十嵐 中 | 東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学 特任准教授 |
| 会 員 | 漆原 尚巳 | 慶應義塾大学 薬学部 医薬品開発規制科学講座 教授 医学博士（社会健康医学） |
| 会 員 | 大井 一弥 | 鈴鹿医療科学大学 薬学部 薬学科 教授 |
| 会 員 | 大嶋 繁 | 城西大学 薬学部 薬学科 准教授 |
| 会 員 | 大谷 道輝 | 公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 診療技術部長 薬剤科長／東京薬科大学 客員教授 |
| 会 員 | 大屋 亜希子 | 一般社団法人サードパス（愛称：医療“学び場”創造機構）代表理事 |
| 会 員 | 岡崎 光洋 | 東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学講座 特任研究員／一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事 |
| 会 員 | 恩田 光子 | 大阪薬科大学 社会薬学・薬局管理学研究室 教授 |
| 会 員 | 川添 哲嗣 | 医療法人つくし会 南国病院 薬剤部長 |
| 会 員 | 金澤 幸江 | 一般社団法人土浦薬剤師会 会長 |
| 会 員 | 亀井 浩行 | 名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授 |
| 会 員 | 亀井 美和子 | 日本大学 薬学部 薬学科 教授 |
| 会 員 | 岸本 桂子 | 昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座社会薬学部門 准教授 |
| 会 員 | 小島 太郎 | 東京大学医学部附属病院 老年病科 助教 |
| 会 員 | 後藤 恵子 | 東京理科大学 薬学部 薬学科健康心理学研究室 教授 |
| 会 員 | 佐藤 啓 | 公益財団法人日本薬剤師研修センター 常務理事 |
| 会 員 | 杉浦 伸一 | 同志社女子大学 薬学部 教授 |
| 会 員 | 鈴木 匡 | 名古屋市立大学 薬学部 薬学科 臨床薬学教育研究センター 教授 |
| 会 員 | 清野 敏一 | 帝京平成大学 薬学部 薬学科 教授 |
| 会 員 | 高瀬 義昌 | 医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事 |
| 会 員 | 成井 浩二 | 東京薬科大学 薬学部 一般用医薬品学教室 |
| 会 員 | 浜田 将太 | 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 主任研究員 |
| 会 員 | 林 宏行 | 日本大学 薬学部 薬物治療学研究室 教授 |
| 会 員 | 伴 信太郎 | 愛知医科大学 医学教育センター 特命教授（センター長） シミュレーションセンター センター長 |
| 会 員 | 平井 みどり | 兵庫県赤十字血液センター センター長 |

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|--------|--------|---|
| 会 員 | 福島 紀子 | 慶応義塾大学 薬学部 名誉教授／一般社団法人慶應義塾大学薬学部K P会 副会長 |
| 会 員 | 舩津 久美 | 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会 |
| 会 員 | 古田 勝経 | 医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター センター長 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 特任研究員) |
| 会 員 | 堀 美智子 | 医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー |
| 会 員 | 真野 泰成 | 東京理科大学 薬学部 薬学科 准教授 |
| 会 員 | 丸岡 弘治 | 医療法人社団協友会 介護老人保健施設横浜あおぼの里 |
| 会 員 | 溝神 文博 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部／日本褥瘡学会認定褥瘡薬剤師 |
| 会 員 | 八木原 栄 | 東京都立神経病院 薬剤科 |
| 会 員 | 山浦 克典 | 慶応義塾大学 薬学部 教授 |
| 会 員 | 山中 崇 | 東京大学医学部在宅医療学拠点 特任准教授 |
| 会 員 | 湯本 哲郎 | 星薬科大学 薬剤師職能開発研究部門長 |
| 会 員 | 吉尾 隆 | 東邦大学 薬学部 医療薬学教育センター 臨床薬学研究室 教授 薬学博士 精神科専門薬剤師 |
| 会 員 | 杉浦 昭子 | 公益財団法人杉浦記念財団 理事長 |
| オブザーバー | 浅井 文和 | 朝日新聞社 東京本社 科学医療部 編集委員 |
| オブザーバー | 熊木 良太 | 昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 助教 |
| オブザーバー | 小西 公子 | 東京都立東部療育センター 薬剤検査科 薬剤係長 |
| オブザーバー | 寺崎 省子 | 朝日新聞社 東京本社 科学医療部 記者 |
| オブザーバー | 根本 英一 | 株式会社南山堂 「薬局」編集部 編集長 |
| オブザーバー | 野出 典子 | 株式会社ベネッセホールディングス 介護・保育カンパニー地域連携本部 看護職員 |
| オブザーバー | 平野 悌志 | 医療法人社団松和会 池上総合病院 循環器内科 |
| オブザーバー | 古川 晶彦 | 株式会社南山堂 編集部 編集長 |
| オブザーバー | 間宮 郁子 | 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 |
| オブザーバー | 宮崎 さやか | 静岡県公立大学法人静岡県立大学 大学院薬食生命科学総合学府 |
| オブザーバー | 吉田 学 | 厚生労働省 大臣官房審議官 (医療介護連携担当) |

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 B）

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 |
|-----------------|------------|------------|----------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 経常収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 3,414,000 | 2,978,305 | △435,695 |
| 印刷製本費 | 312,000 | 0 | △312,000 |
| その他 | 312,000 | 0 | △312,000 |
| 諸謝金 | 660,000 | 468,000 | △192,000 |
| セミナー講師謝礼 | 480,000 | 288,000 | △192,000 |
| その他 | 180,000 | 180,000 | 0 |
| 租税公課 | 204,000 | 185,913 | △18,087 |
| 会議費 | 1,500,000 | 1,403,974 | △96,026 |
| 研究会会議費 | 1,500,000 | 1,403,974 | △96,026 |
| 旅費交通費 | 723,000 | 902,151 | 179,151 |
| 研究会会員旅費交通費 | 540,000 | 544,076 | 4,076 |
| その他 | 183,000 | 358,075 | 175,075 |
| 通信運搬費 | 15,000 | 18,267 | 3,267 |
| 経常費用計 | 3,414,000 | 2,978,305 | △435,695 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △3,414,000 | △2,978,305 | 435,695 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △3,414,000 | △2,978,305 | 435,695 |

経常費用は 298 万円で、予算比△44 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 想定していた映像撮影を行わなかったため、これに係る印刷製本費が計上されなかったこと（△31 万円）
- 諸謝金、会議費、租税公課が想定を下回ったこと（△31 万円）
- 旅費交通費等が想定を上回ったこと（+18 万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

当事業年度は、愛知県地域再生・まちづくり研究会を9回開催し、「これから生まれてくる人のために2060年までをどうデザインするか」をテーマに、その「プラットフォーム」を策定するに際して、問題点を明確にしたうえで、その解決方法を追究いたしました。

また、第3回長生きを喜べるまちづくりシンポジウムを開催するとともに、当該研究会の3年間の成果をまとめた報告集を作成・配布(2,400部)いたしました。

なお、2018年6月からは、これからの社会の仕組みづくりを担い、次世代への橋渡しの役割を期待される30歳代、40歳代にメンバーを入れ替え、従来のメンバーはオブザーバーの立場から、新メンバーによる検討を支援しております。

各回の概要は、以下のとおりです。

| | 日 程 | 会 場 | テ ー マ | 講 師 |
|------|-----------------------|-----------------|------------------------------------|--|
| 第29回 | 2018年 1月12日 (金) | ウインクあいち | ちた型0~100歳の地域包括ケアのまちづくり | 市野 恵 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 代表理事 |
| 第30回 | 2018年 2月16日 (金) | ウインクあいち | むすび Group から始める…住みやすい“まちづくり” | 三宅 直也 むすび Group むすび design 名古屋代表 |
| | | | 祭だ！祭だ！—日本の伝統的祭の持つ持続性の考察 | 石田 芳弘 至学館大学 伊達コミュニケーション研究所 所長 |
| 第31回 | 2018年 3月9日 (金) | ウインクあいち | 研究会のまとめ | 長谷川 敏彦 一般社団法人未来医療研究機構 代表理事 |
| 第32回 | 2018年 5月11日 (金) | ウインクあいち | 医療介護の大改革とそれを支える国民経済の現状 | 権丈 善一 慶應義塾大学商学部 教授 |
| 第1回 | 2018年 6月8日 (金) | ウインクあいち | 愛知県・地域再生まちづくり研究会3年間のまとめとこれから | 長谷川 敏彦 一般社団法人未来医療研究機構 代表理事 |
| 第2回 | 2018年 8月17日 (金) | ウインクあいち | 少子高齢社会で何が問題なのか(ワークショップ形式) | 大貫 徹 名古屋工業大学 名誉教授/ 日本福祉大学 客員教授 *ワークショップ指導 |
| 第3回 | 2018年 9月21日 (金) | ウインクあいち 大ホール | 第3回長生きを喜べるまちづくりシンポジウム—高齢社会を生き抜く秘訣— | 次々頁参照 |

| | 日 程 | 会 場 | テ ー マ | 講 師 |
|-------------|------------------------|-----------------|--|--|
| 第 4 回 | 2018年 10月12日 (金) | ウイン クあい ち | 人口動態から見る世界と日本の未来 | 日渡 健介 一般社団法人未来医療研究機構 |
| | | | 愛知のてっぺん豊根村で取り組んでいること | 青山 幸一 豊根村役場 地域振興課長 |
| | | | ふつうに暮らせるしあわせをどう守り支えるか | 都築 晃 公益社団法人愛知県理学療法士会 理事 地域包括ケア推進委員会 委員長／藤田医科大学 医療科学部リハビリテーション学科 講師(地域包括ケア中核センター 兼務) |
| 第 5 回 | 2018年 11月9日 (金) | ウイン クあい ち | 緊急時にも生きる平常時からの市民セクターによる連携体制の構築～南海トラフ地震に向けて | 栗田 暢之 特定非営利活動法人レスキューストックヤード |
| | | | “共感”が生み出す地域のつながり | 長谷川 友紀 コミュニティ・ユース・バンク momo 副代表理事 |
| 第 6 回 | 2018年 12月14日 (金) | ウイン クあい ち | ながくて幸せのモノサシづくり | 若杉 玲子 長久手市役所 市長公室 政策秘書課 |
| | | | 人や土地建物、金を動かす 新しい価値観を育てる～既にある未来をヒントに～ | 三矢 勝司 名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センター 研究員／特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた 事務局次長 |
| | | | アジアの高齢者の構造と課題 | 日渡 健介 一般社団法人未来医療研究機構 |

第3回

長生きを喜べる まちづくりシンポジウム

—— 高齢社会を生き抜く秘訣 ——

9/21 金

開場 13:00 14:00~17:00

14:00
開催挨拶



杉浦 昭子
公益財団法人
杉浦記念財団 理事長

来賓祝辞
(予定)



大村 秀章
愛知県知事

入場無料
先着 800名様
ご招待!

基調講演 14:05~14:45

これからの医療・ 介護について



演者
中村 秀一
一般社団法人
医療介護福祉政策
研究フォーラム理事長
元厚生労働省大臣官房審議官、老健
局長、社会・健康局長、社会保険診療
報酬支払基金理事長、社会保険制度
改革国民会議事務局長を歴任

座長
大島 伸一
愛知県地域再生・
まちづくり研究会座長、
国立研究開発法人
国立長寿医療研究
センター名誉総長、
日本福祉大学常務理事



シンポジウム 14:55~16:05

これから生まれてくる人の為に 2060年をどうデザインするか

座長 **後 房雄**

名古屋大学 大学院法学研究科 教授

座長 **大貫 徹**

名古屋工業大学名誉教授、日本福祉大学 客員教授

演者

森 貞述
特定非営利活動法人 地域ケア政策
ネットワーク理事、元愛知県高浜市長

安井 俊夫
愛知総合看護福祉専門学校
まりのがくえん校長
元愛知県教育長

指定発言 **長谷川 敏彦** 一般社団法人 未来医療研究機構 代表理事

石田 芳弘
至学館大学 伊豆コミュニケーション
研究所所長、元愛知県犬山市長

北川 薫
梅村学園学事顧問 前中京大学学長、
梅村学園・中京大学
スポーツ将来構想会議議長

特別講演 16:15~16:55

セカンド キャリアについて



元中日ドラゴンズ
演者 **山本 昌**

座長 **山本 保**
愛知県政策顧問
「改革の風フォーラム」代表

16:55~17:00
閉会挨拶

大沢 勝 愛知県社会福祉協議会会長

シンポジウムテーマ **これから生まれてくる人の為に、2060年をどうデザインするか**

会場 ウィンクあいち 2階大ホール

T450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
● JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より JR名古屋駅南口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分 エニモール地下街 5番出口 徒歩2分
※貸切会場ご利用ください。

応募方法は3通り 【応募締切】2018年9月12日(水)当日消印有効 WEB・FAXは23:59まで

FAX

チラシ裏面の申込書に必要事項を記入の上、FAX番号までお送りください。

FAX番号

0562-45-2732

WEB

下記URLまたはQRコードよりアクセスの上、必要事項を入力してください。

杉浦記念財団 愛知県

<http://sugi-zaidan.jp/>

郵便ハガキ

下記必要事項を郵便ハガキに明記の上、郵送にてご応募ください。

【応募事項】 ①郵便番号 ②住所 ③代表者氏名 ④参加人数(代表者を含む)

⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号

発売 T474-0011 愛知県大府市御領町新江62番地の1

杉浦記念財団「まちづくりシンポジウム」部



【個人情報の取扱いについて】お申し込みを届けてお集帳がご提供いたしますが個人情報は、お申し込み対応のために利用いたします。

主催 公益財団法人 杉浦記念財団 後援 愛知県、名古屋市、公益社団法人愛知県看護協会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、愛知県介護支援専門員協会
お問い合わせ先 「長生きを喜べる」事務局 〒474-0011 愛知県大府市御領町新江62番地の1 TEL:0562-45-2731 (AM10:00~PM5:00 土・日・祭・休日除く平日)

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|--------|--------|--|
| 座長 | 大島 伸一 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事 |
| アドバイザー | 後 房雄 | 名古屋大学 大学院法学研究科 教授 |
| アドバイザー | 大貫 徹 | 名古屋工業大学 名誉教授／日本福祉大学 客員教授 |
| アドバイザー | 長谷川 敏彦 | 一般社団法人未来医療研究機構 代表理事 |
| 会員 | 青山 幸一 | 豊根村役場 地域振興課長 |
| 会員 | 岩岡 ひとみ | 特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会(NPOふくりび) 事務局長 |
| 会員 | 栗田 暢之 | 特定非営利活動法人レスキューストックヤード |
| 会員 | 都築 晃 | 公益社団法人愛知県理学療法士会 理事 地域包括ケア推進委員会 委員長／藤田医科大学 医療科学部リハビリテーション学科 講師(地域包括ケア中核センター 兼務) |
| 会員 | 西岡 麻知子 | 南医療生協地域ささえあいセンター 部長 リハビリテーション部長 理学療法士 |
| 会員 | 長谷川 友紀 | コミュニティ・ユース・バンク momo 副代表理事 |
| 会員 | 日渡 健介 | 一般社団法人未来医療研究機構 |
| 会員 | 三矢 勝司 | 名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センター 研究員／特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた 事務局次長 |
| 会員 | 森 道成 | オリーブ薬局 代表取締役 日進豊明薬剤師会 会長 |
| 会員 | 若杉 玲子 | 長久手市役所 市長公室 政策秘書課 |
| オブザーバー | 石田 芳弘 | 至学館大学 伊達コミュニケーション研究所 所長 (元愛知県犬山市長) |
| オブザーバー | 大沢 勝 | 社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 会長 学校法人日本福祉大学 名誉総長 |
| オブザーバー | 大森 雅弥 | 中日新聞 編集局 編集委員 |
| オブザーバー | 北川 薫 | 梅村学園 学事顧問(元中京大学 学長)／梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議 議長 |
| オブザーバー | 小林 弘和 | 中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室 室長補佐 |
| オブザーバー | 今野 直明 | 中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室長 |
| オブザーバー | 田中 博幸 | 愛知県健康福祉部 医療介護推進監 |
| オブザーバー | 丹羽 則雄 | 社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 企画室長 |
| オブザーバー | 森 貞述 | 特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事 (元愛知県高浜市長) |

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|--------|-------|-------------------------------------|
| オブザーバー | 安井 俊夫 | 愛知総合看護福祉専門学校もりのがくえん 校長 (元愛知県教育長) |
| オブザーバー | 山本 保 | 愛知県政策顧問／「改革の風フォーラム」代表 (元参議院議員) |
| オブザーバー | 杉浦 昭子 | 公益財団法人杉浦記念財団 理事長 |

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書 (調査・研究事業 C)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
|-----------------|------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 経常収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 7,366,140 | 9,781,967 | 2,415,827 |
| 消耗品費 | 0 | 13,205 | 13,205 |
| 印刷製本費 | 1,518,000 | 3,126,374 | 1,608,374 |
| その他の | 1,518,000 | 3,126,374 | 1,608,374 |
| 諸謝金 | 1,620,000 | 1,490,000 | △130,000 |
| セミナー講師謝礼 | 1,020,000 | 920,000 | △100,000 |
| その他の | 600,000 | 570,000 | △30,000 |
| 支払手数料 | 0 | 21,800 | 21,800 |
| その他の | 0 | 21,800 | 21,800 |
| 租税公課 | 425,640 | 607,453 | 181,813 |
| 委託費 | 0 | 925,926 | 925,926 |
| 広告宣伝費 | 1,000,000 | 576,850 | △423,150 |
| 会議費 | 1,720,000 | 1,380,761 | △339,239 |
| 研究会会議費 | 720,000 | 868,133 | 148,133 |
| セミナー会議費用 | 1,000,000 | 495,100 | △504,900 |
| その他の | 0 | 17,528 | 17,528 |
| 旅費交通費 | 1,060,000 | 1,540,563 | 480,563 |
| 研究会会員旅費交通費 | 1,000,000 | 1,487,187 | 487,187 |
| その他の | 60,000 | 53,376 | △6,624 |
| 通信運搬費 | 22,500 | 99,035 | 76,535 |
| 経常費用計 | 7,366,140 | 9,781,967 | 2,415,827 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △7,366,140 | △9,781,967 | △2,415,827 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △7,366,140 | △9,781,967 | △2,415,827 |

経常費用は978万円で、予算比+242万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 報告集の増刷や編集委託等により、印刷製本費、委託費、支払手数料が想定を上回ったこと (+256万円)
- 参加者が増加したため、旅費交通費が想定を上回ったこと (+48万円)
- 通信運搬費、消耗品費、租税公課が想定を上回ったこと (+27万円)
- 広告宣伝費、会議費、諸謝金が想定を下回ったこと (△89万円)

D. 健康寿命延伸と介護予防を考える会

当事業年度は、健康寿命延伸と介護予防を考える会を6回開催し、70歳以降に要介護状態に陥ることなく、可能な限り長く自立して生活できるよう、具体的な健康寿命延伸のための方策を追究いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修コンテンツに活用しております。

| | 日 程 | 会 場 | テ ー マ | 講 師 |
|------|------------------------|---------|-----------------------------------|--|
| 第8回 | 2018年 1月25日 (木) | ウインクあいち | 口腔ケアと予防 | 森下 志穂 愛知県歯科衛生士会 理事／名古屋医健スポーツ専門学校 教務部 歯科衛生科 専任教員 |
| 第9回 | 2018年 3月22日 (木) | ウインクあいち | 認知症になっても住みなれた場所で暮らせるまちづくり | 武地 一 藤田医科大学 医学部 認知症・高齢診療科 教授 |
| 第10回 | 2018年 5月24日 (木) | ウインクあいち | 高齢者ケアとリハビリテーション—その人らしい生活を支える作業療法— | 大浦 智子 星城大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 准教授 |
| 第11回 | 2018年 7月26日 (木) | ウインクあいち | 本人の QOL とリスクの関係性を考慮した地域づくり | 牧 陽子 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター 研修開発研究室長 |
| 第12回 | 2018年 9月20日 (木) | ウインクあいち | 言語聴覚士と地域づくり | 村瀬 文康 愛知県言語聴覚士会 地域リハビリテーション委員会 理事 |
| 第13回 | 2018年 11月15日 (木) | ウインクあいち | 清流の国ぎふ健康づくり事業 | 稲葉 静代 岐阜県健康福祉部次長（兼 保健医療課長） |

当該考える会の参加メンバーは、以下のとおりです。

| 役 名 | 氏 名 | 所 属 ・ 役 職 |
|--------|-------|---|
| 座 長 | 鈴木 隆雄 | 桜美林大学 老年学総合研究所 所長 大学院教授／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐 |
| アドバイザー | 近藤 克則 | 千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長／日本福祉大学 客員教授 |
| 会 員 | 阿部 友和 | 株式会社フィジカルイノベーションズ 代表取締役社長／星城大学 リハビリテーション学部 非常勤講師・研究員 |
| 会 員 | 磯貝 恵美 | 西尾市役所 健康福祉部 長寿課 |

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|-----|--------|---|
| 会 員 | 磯村 順司 | 社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長 |
| 会 員 | 稲垣 毅 | 一般社団法人愛知県作業療法士会 会長／愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院 |
| 会 員 | 稲葉 静代 | 岐阜県健康福祉部 次長（兼 保健医療課長） |
| 会 員 | 今田 英己 | 学校法人電波学園 あいちビジネス専門学校 教諭 医学博士 |
| 会 員 | 江口 澄子 | 公益社団法人愛知県栄養士会 副会長／鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療栄養学科 特任准教授／ 特定非営利活動法人 LET'S 食の絆 副理事長 |
| 会 員 | 大井 一弥 | 鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科 臨床薬理学研究室 教授 |
| 会 員 | 大浦 智子 | 星城大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻 准教授 |
| 会 員 | 大田 康博 | 日本福祉大学 大学院医療・福祉マネジメント研究科 実務家教員／株式会社 QOL84 プラス 代表取締役 |
| 会 員 | 岡崎 光洋 | 一般社団法人スマートヘルスケア協会（SHCA）／北 海道大学 大学院 |
| 会 員 | 尾崎 恭子 | 西尾市役所 健康福祉部 健康課 |
| 会 員 | 加藤 文之 | 公益社団法人愛知県理学療法士会 副代表理事／名 古屋学院大学 リハビリテーション学部 教授 |
| 会 員 | 久野 幸信 | 大府市役所 総務部 |
| 会 員 | 溝神 由美子 | 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 薬 剤部 |
| 会 員 | 澤登 久雄 | 社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえ あいセンター センター長／おた高齢者見守りネ ットワーク 発起人 |
| 会 員 | 佐々木 直子 | 名古屋市健康福祉局 高齢福祉部地域ケア推進課 保 健師 |
| 会 員 | 島田 裕之 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年 学・社会科学研究センター 予防老年学研究部 部長 |
| 会 員 | 下方 浩史 | 名古屋学芸大学 健康・栄養研究所 教授 |
| 会 員 | 白石 成明 | 日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 教授 |
| 会 員 | 杉浦 洋子 | 碧南市役所 健康推進部 高齢介護課 地域支援係 |
| 会 員 | 杉浦 あゆみ | 碧南市役所 健康推進部 高齢介護課 地域支援係 |
| 会 員 | 鈴木 裕介 | 名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談セン ター 准教授 |
| 会 員 | 高山 崇 | 西尾市役所 健康福祉部 長寿課 地域支援担当 |
| 会 員 | 武地 一 | 藤田医科大学 医学部 認知症・高齢診療科 教授 |

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|-----|--------|--|
| 会 員 | 都築 晃 | 公益社団法人愛知県理学療法士会 理事 地域包括ケア推進委員会 委員長／藤田医科大学 医療科学部リハビリテーション学科 講師(地域包括ケア中核センター 兼務) |
| 会 員 | 中村 浩 | 大府市役所 企画政策部 健康都市推進局 健康都市推進課長 |
| 会 員 | 野田 幸裕 | 名城大学 薬学部 教授 |
| 会 員 | 林 正実 | 大府市役所 企画政策部 参事 |
| 会 員 | 福田 嘉彦 | 名古屋市役所 健康福祉局 高齢福祉部 地域ケア推進課 主査 |
| 会 員 | 藤川 隆彦 | 鈴鹿医療科学大学薬学部 教授 薬理・動態学分野分子予防薬理学研究室 |
| 会 員 | 藤田 正之 | 医療法人仁医会 理事 仁医会地域包括支援センターセンター長／西尾市地域包括支援センター西尾センター長 |
| 会 員 | 堀内 康世 | 常滑市役所 高齢介護課 |
| 会 員 | 水谷 文美乃 | 西尾市役所 健康福祉部 健康課 主査 |
| 会 員 | 水鳥 美紀 | 西尾市役所 健康福祉部 長寿課 主査 |
| 会 員 | 宮國 康弘 | 千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門特任研究員 |
| 会 員 | 武藤 英夫 | 株式会社ジャパンライフデザインシステムズ マーケティングディビジョンセルフドクタークラブ プロデューサー |
| 会 員 | 村瀬 文康 | 愛知県言語聴覚士会 地域リハビリテーション委員会 理事 |
| 会 員 | 森下 志穂 | 愛知県歯科衛生士会 理事／名古屋医健スポーツ専門学校 教務部 歯科衛生科 専任教員 歯科衛生士 |
| 会 員 | 百瀬 由美子 | 愛知県立大学 看護学部 看護学研究科 |
| 会 員 | 山田 清文 | 名古屋大学 大学院医学系研究科 医療薬学・医学部 附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長 |
| 会 員 | 横山 茂紀 | 名古屋市役所 健康福祉局 高齢福祉部 地域ケア推進課 課長 |

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 D）

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 |
|-----------------|------------|------------|----------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 経常収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 2,121,240 | 1,253,201 | △868,039 |
| 印刷製本費 | 12,000 | 0 | △12,000 |
| その他 | 12,000 | 0 | △12,000 |
| 諸謝金 | 660,000 | 420,000 | △240,000 |
| セミナー講師謝礼 | 480,000 | 240,000 | △240,000 |
| その他 | 180,000 | 180,000 | 0 |
| 支払手数料 | 0 | 150 | 150 |
| その他 | 0 | 150 | 150 |
| 租税公課 | 108,240 | 61,697 | △46,543 |
| 会議費 | 720,000 | 463,917 | △256,083 |
| 研究会会議費 | 720,000 | 456,736 | △263,264 |
| その他 | 0 | 7,181 | 7,181 |
| 旅費交通費 | 606,000 | 288,357 | △317,643 |
| 研究会会員旅費交通費 | 600,000 | 288,357 | △311,643 |
| その他 | 6,000 | 0 | △6,000 |
| 通信運搬費 | 15,000 | 19,080 | 4,080 |
| 経常費用計 | 2,121,240 | 1,253,201 | △868,039 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △2,121,240 | △1,253,201 | 868,039 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △2,121,240 | △1,253,201 | 868,039 |

経常費用は 125 万円で、予算比△87 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 旅費交通費、会議費、諸謝金、印刷製本費、租税公課が想定を下回ったこと（△87 万円）

(3) 講座・セミナー事業（一般対象）（公3）

講座・セミナー事業（一般対象）では、定款第4条第1項第6号に定める「その他前条の目的を達成するために必要な事業」として、主に一般の方を対象としたセミナー等を以下のとおり実施いたしました。

A. 健康増進セミナー

当事業年度は、健康増進セミナーを東名阪の主要都市にて8回開催し、体組成・骨密度・血管年齢等の測定、健康相談、講演会を株式会社スギ薬局の協賛にて実施いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

| セミナー | 開催日 | 受付人数 |
|------------------|----------------|--------|
| 健康増進セミナーin 東京 | 2018年1月8日（月） | 308名 |
| 健康増進セミナーin 大阪 | 2018年2月10日（土） | 450名 |
| 健康増進セミナーin 兵庫 | 2018年4月7日（土） | 330名 |
| 健康増進セミナーin 愛知 | 2018年5月13日（日） | 460名 |
| 健康増進セミナーin 三重 | 2018年6月24日（日） | 362名 |
| 健康増進セミナーin 埼玉 | 2018年7月16日（月） | 370名 |
| 健康増進セミナーin 京都・滋賀 | 2018年9月24日（月） | 370名 |
| 健康増進セミナーin 岐阜 | 2018年10月20日（土） | 450名 |
| 計 | — | 3,100名 |

また、国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの監修により作成した介護予防・認知症予防のためのリフレッシュ運動 DVD を希望者 64 名に無料配布いたしました。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般対象）A）

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 |
|-----------------|------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 経常収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 3,085,054 | 2,343,093 | △741,961 |
| 消耗品費 | 0 | 28,000 | 28,000 |
| 印刷製本費 | 1,000,000 | 0 | △1,000,000 |
| その他 | 1,000,000 | 0 | △1,000,000 |
| 諸謝金 | 800,000 | 700,000 | △100,000 |
| セミナー講師謝礼 | 800,000 | 700,000 | △100,000 |
| 租税公課 | 97,920 | 206,298 | 108,378 |
| 広告宣伝費 | 0 | 60,000 | 60,000 |
| 会議費 | 64,000 | 207,415 | 143,415 |
| セミナー会議費用 | 64,000 | 207,415 | 143,415 |
| 旅費交通費 | 160,000 | 43,786 | △116,214 |
| セミナー講師旅費交通費 | 80,000 | 26,423 | △53,577 |
| その他 | 80,000 | 17,363 | △62,637 |
| 通信運搬費 | 0 | 23,661 | 23,661 |
| 減価償却費 | 963,134 | 1,073,933 | 110,799 |
| 経常費用計 | 3,085,054 | 2,343,093 | △741,961 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △3,085,054 | △2,343,093 | 741,961 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △3,085,054 | △2,343,093 | 741,961 |

経常費用は 234 万円で、予算比△74 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 想定していたリフレッシュ運動手帳の作成を見送ったため、これに係る印刷製本費が計上されなかったこと（△100 万円）
- 旅費交通費、諸謝金が想定を下回ったこと（△22 万円）
- 骨密度測定装置 2 台を購入したため、これに係る減価償却費、消耗品費が生じたこと（+14 万円）
- 会議費等が想定を上回ったこと（+25 万円）
- 広告宣伝費（募集サイト保守費用）、通信運搬費を予算計上していなかったこと（+8 万円）

B. 認知症医療介護推進フォーラム

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの主催する第5回認知症医療介護推進フォーラムに共催する形で参画いたしました。概要は、以下のとおりです。



第5回 認知症医療介護推進フォーラム

入場無料 抽選:350名
申込については裏面をご覧ください

意欲をもって地域で暮らすために

2018年2月18日[日] 9:30~15:30 東京大学 伊藤国際学術研究センター
伊藤謝恩ホール

共催:杉浦記念財団

9:30 開会挨拶

来賓挨拶

| | |
|--|---|
| <p>鳥羽 研二 国立長寿医療研究センター 理事長</p> <p>杉浦 昭子 杉浦記念財団 理事長</p> <p>鈴木 邦彦 日本医師会 常任理事</p> <p>平川 博之 東京都医師会 副会長</p> <p>今井 幸充 日本認知症ケア学会 理事長</p> <p>武久 洋三 日本慢性期医療協会 会長</p> |  |
|--|---|

10:00 講演 **最新の認知症施策の動向**
田中 規倫 厚生労働省老健局 室長

10:45 シンポジウム1 高齢者と自動車運転について

| | |
|--------------|---------------------------|
| 座長: 鈴木 邦彦 | 日本医師会 常任理事 |
| 座長: 渡辺 俊介 | 国際医療福祉大学大学院 教授 |
| シンポジスト: 岡本 努 | 警察庁 高齢運転者等支援室長 |
| 三村 将 | 慶応義塾大学 教授 |
| 高橋 信彦 | 日本自動車工業会 安全部会長 |
| 島田 裕之 | 国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部長 |
| 助川 未枝保 | 日本介護支援専門員協会 地域包括支援センター部会長 |

共催:エーザイ株式会社

12:30 ランチョンセミナー 認知症予防・治療の最新知識

| | |
|-----------|-------------|
| 座長: 秋山 治彦 | 日本認知症学会 理事長 |
| 演者: 岩坪 威 | 東京大学大学院 教授 |

共催:杉浦記念財団

13:50 シンポジウム2 認知症に理解のあるまちづくり ~新オレンジプランの今後の発展のために~

| | |
|---------------|--------------------------|
| 座長: 荒木 暁子 | 日本看護協会 常任理事 |
| 座長: 水上 勝義 | 筑波大学 教授 |
| シンポジスト: 樋口 直美 | レビー小体病 当事者 |
| 鈴木 森夫 | 認知症の人と家族の会 代表理事 |
| 鷲見 幸彦 | 国立長寿医療研究センター 副院長 |
| 稲田 秀樹 | (株)さくらコミュニティケアサービス 代表取締役 |
| 堀部 賢太郎 | 国立長寿医療研究センター 室長 |

15:20 閉会挨拶 羽生 春夫 日本老年医学会 理事

主催:国立長寿医療研究センター 認知症医療介護推進会議

後援:厚生労働省、国立精神・神経医療研究センター、全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、全日本病院協会、東京都医師会、日本医師会、日本介護支援専門員協会、日本介護福祉士会、日本看護協会、日本産科医師会、日本精神科病院協会、日本認知症学会、日本認知症グループホーム協会、日本認知症ケア学会、日本慢性期医療協会、日本薬剤師会、日本老年医学会、日本老年看護学会、日本老年精神医学会、認知症介護研究・研修センター、認知症の人と家族の会

(法人名以下五十音順)



東京大学
伊藤国際学術研究センター
伊藤謝恩ホール

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 赤門増

東京メトロ丸の内線
本郷三丁目駅 徒歩8分
地下鉄 大江戸線
本郷三丁目駅 徒歩6分

※駐車場はございません。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般対象）B）

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 |
|-----------------------|------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 経常収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事 業 費 | 2,576,000 | 1,453,231 | △1,122,769 |
| 印 刷 製 本 費 | 400,000 | 441,280 | 41,280 |
| そ の 他 | 400,000 | 441,280 | 41,280 |
| 諸 謝 金 | 200,000 | 118,000 | △82,000 |
| セ ミ ナ ー 講 師 謝 礼 | 200,000 | 118,000 | △82,000 |
| 租 税 公 課 | 176,000 | 98,899 | △77,101 |
| 委 託 費 | 250,000 | 0 | △250,000 |
| 広 告 宣 伝 費 | 0 | 15,218 | 15,218 |
| 会 議 費 | 1,200,000 | 592,175 | △607,825 |
| セ ミ ナ ー 会 議 費 用 | 1,200,000 | 592,175 | △607,825 |
| 旅 費 交 通 費 | 340,000 | 179,598 | △160,402 |
| セ ミ ナ ー 講 師 旅 費 交 通 費 | 240,000 | 8,245 | △231,755 |
| そ の 他 | 100,000 | 171,353 | 71,353 |
| 通 信 運 搬 費 | 10,000 | 8,061 | △1,939 |
| 経常費用計 | 2,576,000 | 1,453,231 | △1,122,769 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △2,576,000 | △1,453,231 | 1,122,769 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △2,576,000 | △1,453,231 | 1,122,769 |

経常費用は145万円で、予算比△112万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 電話による参加申込み受付を行わなかったため、これに係る委託費が計上されなかったこと（△25万円）
- 会議費、旅費交通費、諸謝金、租税公課等が想定を下回ったこと（△93万円）
- 印刷製本費等が想定を上回ったこと（+6万円）

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

講座・セミナー事業（専門家対象）では、定款第4条第1項第3号に定める「医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成事業」として、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することのできる「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」を運営いたしました。

当事業年度末日現在の提供講座数は74講座、登録受講者数は2,560名であります。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 |
|-----------------------------|-----------|-----------|----------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受 取 会 費 | 3,000,000 | 3,927,078 | 927,078 |
| 研 修 事 業 会 費 | 3,000,000 | 3,927,078 | 927,078 |
| 経常収益計 | 3,000,000 | 3,927,078 | 927,078 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事 業 費 | 3,548,600 | 4,012,149 | 463,549 |
| 消 耗 品 費 | 0 | 1,801 | 1,801 |
| 印 刷 製 本 費 | 900,000 | 814,000 | △86,000 |
| 教 材 撮 影 編 集 費 | 900,000 | 800,000 | △100,000 |
| そ の 他 | 0 | 14,000 | 14,000 |
| 諸 謝 金 | 400,000 | 352,000 | △48,000 |
| セ ミ ナ ー 講 師 謝 礼 | 400,000 | 352,000 | △48,000 |
| 支 払 手 数 料 | 1,380,000 | 2,002,425 | 622,425 |
| I D 管 理 費 | 1,020,000 | 1,461,000 | 441,000 |
| 日 本 薬 剤 師 研 修 セ ン タ ー 認 定 費 | 360,000 | 342,864 | △17,136 |
| そ の 他 | 0 | 198,561 | 198,561 |
| 租 税 公 課 | 203,600 | △31,633 | △235,233 |
| 会 議 費 | 100,000 | 45,278 | △54,722 |
| セ ミ ナ ー 会 議 費 用 | 100,000 | 45,278 | △54,722 |
| 旅 費 交 通 費 | 160,000 | 154,885 | △5,115 |
| そ の 他 | 160,000 | 154,885 | △5,115 |
| 通 信 運 搬 費 | 5,000 | 230,643 | 225,643 |
| 減 価 償 却 費 | 400,000 | 442,750 | 42,750 |
| 経常費用計 | 3,548,600 | 4,012,149 | 463,549 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △548,600 | △85,071 | 463,529 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △548,600 | △85,071 | 463,529 |

経常収益は393万円で、予算比+93万円となりました。

また、経常費用は401万円で、予算比+46万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 受講者数の増加したため、これに係る支払手数料、通信運搬費、消耗品費が増加したこと（+85万円）
- 研修サイトの機能を強化したため、これに係る減価償却費が生じたこと（+4万円）
- 印刷製本費、会議費、諸謝金、租税公課等が想定を下回ったこと（△43万円）

(5) 公益事業共通

公益事業共通には、公益事業に共通する収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（公益事業共通）

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 |
|-----------------|------------|------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 66,854,620 | 55,728,620 | △11,126,000 |
| 基本財産受取利息振替額 | 98,620 | 98,620 | 0 |
| 基本財産受取配当金 | 66,756,000 | 55,630,000 | △11,126,000 |
| 受取寄付金 | 0 | 5,030,000 | 5,030,000 |
| 受取寄付金 | 0 | 5,030,000 | 5,030,000 |
| 経常収益計 | 66,854,620 | 60,758,620 | △6,096,000 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 2,400,000 | 2,801,106 | 401,106 |
| 給料手当 | 2,400,000 | 2,801,106 | 401,106 |
| 経常費用計 | 2,400,000 | 2,801,106 | 401,106 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 64,454,620 | 57,957,514 | △6,497,106 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | 64,454,620 | 57,957,514 | △6,497,106 |

経常収益は、6,076 万円で、予算比△610 万円となりました。受取配当金の減少（△1,113 万円）、受取寄付金の増加（+503 万円）が要因です。

また、経常費用は 280 万円で、予算比+40 万円となりました。給料手当が想定を上回りました。

(6) 一般事業

一般事業には、当法人の管理・運営に係る収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（一般事業）

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 |
|-----------------|------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 24,000,000 | 20,000,000 | △4,000,000 |
| 基本財産受取配当金 | 24,000,000 | 20,000,000 | △4,000,000 |
| 受取寄付金 | 0 | 20,000,000 | 20,000,000 |
| 受取寄付金 | 0 | 20,000,000 | 20,000,000 |
| 雑収 | 98,620 | 159,267 | 60,647 |
| 受取利息 | 98,620 | 98,872 | 252 |
| その他雑収益 | 0 | 60,395 | 60,395 |
| 経常収益計 | 24,098,620 | 40,159,267 | 16,060,647 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 管理費 | 17,588,285 | 14,303,559 | △3,284,726 |
| 役員報酬 | 3,150,000 | 1,700,000 | △1,450,000 |
| 評議員報酬 | 1,300,000 | 550,000 | △750,000 |
| 理事報酬 | 1,450,000 | 750,000 | △700,000 |
| 監事報酬 | 400,000 | 400,000 | 0 |
| 消耗品費 | 40,000 | 122,386 | 82,386 |
| 修繕費 | 0 | 12,000 | 12,000 |
| その他 | 0 | 12,000 | 12,000 |
| 印刷製本費 | 826,400 | 981,862 | 155,462 |
| 賃借料 | 180,000 | 180,000 | 0 |
| 支払手数料 | 359,008 | 296,657 | △62,351 |
| 租税公課 | 376,113 | 339,318 | △36,795 |
| 給料手当 | 7,200,000 | 7,068,464 | △131,536 |
| 支払寄付金 | 2,000,000 | 730,000 | △1,270,000 |
| 広告宣伝費 | 326,180 | 306,180 | △20,000 |
| ホームページ関連費用 | 306,180 | 306,180 | 0 |
| その他 | 20,000 | 0 | △20,000 |
| 会議費 | 703,500 | 521,359 | △182,141 |
| 旅費交通費 | 963,000 | 801,775 | △161,225 |
| 評議員旅費交通費 | 400,000 | 307,297 | △92,703 |
| 理事旅費交通費 | 450,000 | 257,481 | △192,519 |
| 監事旅費交通費 | 63,000 | 57,909 | △5,091 |
| 職員旅費交通費 | 50,000 | 179,088 | 129,088 |
| 通信運搬費 | 703,320 | 431,273 | △272,047 |
| 電話料 | 102,000 | 104,378 | 2,378 |
| その他 | 601,320 | 326,895 | △274,425 |
| 減価償却費 | 160,764 | 160,764 | 0 |
| 雑費 | 600,000 | 651,521 | 51,521 |
| その他 | 600,000 | 651,521 | 51,521 |
| 経常費用計 | 17,588,285 | 14,303,559 | △3,284,726 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 6,510,335 | 25,855,708 | 19,345,373 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | 6,510,335 | 25,855,708 | 19,345,373 |

経常収益は、4,016 万円で、予算比+1,606 万円となりました。受取配当金の減少（△400 万円）、受取寄付金の増加（+2,000 万円）が主な要因です。

また、経常費用は1,430万円で、予算比△328万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

- 役員等報酬(△145万円)、支払寄付金(△127万円)、その他(△87万円)が想定を下回ったこと(△359万円)
- 印刷製本費、消耗品費、雑費、修繕費が想定を上回ったこと(+30万円)

2. 決算の概況

(1) 正味財産増減計算書（決算報告書 2～3 頁）

一般正味財産増減の部では、経常収益 1 億 612 万円（前年度比 +1,163 万円）に対し、経常費用は、事業費 6,800 万円（前年度比 +202 万円）、管理費 1,430 万円（前年度比 △513 万円）、合計 8,230 万円（前年度比 △311 万円）でした。当期経常増減額は 2,382 万円（前年度比 +1,474 万円）となり、当期一般正味財産増減額も 2,382 万円（前年度比 +1,474 万円）となりました。その結果、一般正味財産期末残高は、期首残高 3,202 万円から +2,382 万円の 5,583 万円となりました。

指定正味財産増減の部では、基本財産運用益 10 万円に対し、一般正味財産への振替額 10 万円で、当期指定正味財産増減額はありませんでした。その結果、指定正味財産期末残高は、期首残高と同額の 208 億 4,791 万円となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は 209 億 374 万円（前年度比 +2,382 万円）となりました。

(2) 貸借対照表（決算報告書 1 頁）

流動資産は、前年度比 +1,989 万円の 4,298 万円となり、その主因は、現金預金が前年度比 +1,833 万円、前払金が前年度比 +170 万円となったことにあります。前払金につきましては、都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集 Vol.5 の制作費用の内金 159 万円の計上がありました。

固定資産は、前年度比 +80 万円の 208 億 6,386 万円となり、その主因は、骨密度測定装置 2 台の購入、インターネット研修サイトの機能追加による増加額が 250 万円、償却による減少額が 168 万円であったことにあります。

以上の結果、資産合計は、前年度比 +2,069 万円の 209 億 684 万円となりました。

流動負債は、前年度比 △312 万円の 310 万円となり、その主因は、未払金が前年度比 △170 万円、前受会費が前年度比 △142 万円となったことにあります。未払金につきましては、前年度には、第 2 回長生きを喜べるまちづくりシンポジウムの講演集作成費用 169 万円の計上がありました。また、前受会費につきましては、前年度 11 月、12 月のインターネット研修の申込者数が 370 名で、110 万円の計上がありました。（当年度 11 月、12 月はそれぞれ 42 名、21 万円でした。）

固定負債に該当するものがないので、負債合計は流動負債と同額となります。

なお、資産負債の詳細につきましては、財産目録（決算報告書 8 頁）に記載のとおりです。

3. 法人の概況

(1) 設立日及び公益認定日

設立日及び公益認定日は、以下のとおりです。

- 設 立 日 2011年9月1日
- 公益認定日 2015年7月1日

(2) 主たる事務所の所在地

主たる事務所の所在地は、以下のとおりです。

- 愛知県大府市横根町新江 62 番地の 1

(3) 定款に定める目的

定款に定める目的は、以下のとおりです。

- 医学・薬学・看護学・社会福祉学の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者および介護福祉従事者の育成を支援することにより、地域医療を振興し、以って、国民とりわけ高齢者の健康と福祉の増進に寄与すること

(4) 定款に定める事業内容

定款に定める事業内容は、以下のとおりです。

- 地域医療の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- 地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画
- 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医学・薬学・看護学・社会福祉学・社会保障に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- その他前条の目的を達成するために必要な事業

(5) 役員

2018年12月31日現在の役員は、以下のとおりです。

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|-----|--------|--|
| 理事長 | 杉浦 昭子 | スギホールディングス株式会社 相談役 |
| 理事 | 秋下 雅弘 | 東京大学 大学院医学系研究科 加齢医学 教授／東京大学医学部附属病院 老年病科長 |
| | 井口 昭久 | 愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 教授／名古屋大学 名誉教授 |
| | 大島 伸一 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事 |
| | 杉浦 伸哉 | スギホールディングス株式会社 取締役／株式会社スギ薬局 常務取締役 営業本部長 |
| | 高瀬 義昌 | 医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事 |
| | 中井 加代子 | 公益社団法人日本看護協会 監事／特定非営利活動法人看護の広場 理事長 |
| | 鍋島 俊隆 | 藤田医科大学 先進診断システム探索研究部門 客員教授／特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 理事長／名古屋大学 名誉教授／アレクサンドル・イワン・クザ大学（ルーマニア）名誉教授 |
| | 野本 慎一 | 京都大学 名誉教授／一般社団法人電子連絡ノート協会 理事長 |
| | 久常 節子 | 元 国際医療福祉大学大学院 副大学院長／元 公益社団法人日本看護協会 会長 |
| | 山村 恵子 | 愛知学院大学 薬学部 臨床薬剤学講座 教授 |
| 監事 | 神谷 誠 | デトロイトトーマツ税理士法人 名古屋事務所 所長 |
| | 平野 晃 | 公認会計士／元 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー |

(注) 五十音順で記載しております。

(6) 評議員

2018年12月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

| 役名 | 氏名 | 所属・役職 |
|-------|--|---|
| 評議員会長 | 杉浦 広一 | スギホールディングス株式会社 代表取締役会長 |
| 評 議 員 | 荒井 秀典 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 病院長 |
| | 上野 桂子 | 社会福祉法人聖隷福祉事業団 監事／一般社団法人全国訪問看護事業協会 副会長 |
| | 木村 隆次 | 公益社団法人青森県介護支援専門員協会 副会長／一般社団法人青森県薬剤師会 会長 |
| | 葛谷 雅文 | 名古屋大学 大学院医学系研究科 発育・加齢医学 地域在宅医療学 老年科学教室 教授 |
| | 倉田 なおみ | 昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 教授 |
| | 白澤 政和 | 桜美林大学 大学院老年学研究科 老年学専攻 教授 |
| | 杉浦 克典 | スギホールディングス株式会社 代表取締役副社長／株式会社スギ薬局 代表取締役社長 |
| | 鈴木 匡 | 名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床薬学 薬学部臨床薬学教育研究センター 教授 |
| | 高橋 紘士 | 一般財団法人高齢者住宅財団 特別顧問／東京通信大学 教授 |
| | 田中 滋 | 埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授 |
| | 辻 哲夫 | 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 |
| | 水流 聡子 | 東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 品質・医療社会システム工学寄付講座 特任教授 |
| | 豊田 百合子 | 大阪保健福祉専門学校 副学校長／元 公益社団法人大阪府看護協会 会長 |
| 伴 信太郎 | 愛知医科大学 医学教育センター 特命教授（センター長） シミュレーションセンター センター長 | |

(注) 五十音順で記載しております。

(7) 事務局組織

2018年12月31日現在における事務局組織は、以下のとおりです。

職員構成

| | |
|-----------|----|
| 事務局長 | 1名 |
| 企画グループ | 2名 |
| 総務・経理グループ | 2名 |

(8) 理事会

当事業年度に開催した理事会は、以下のとおりです。

| 開催日 | 目的事項 |
|---------------------------------|---|
| 2018年2月23日 理事会（決議の省略の方法による） | 【決議事項】 ・2017年度（第3期）事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録承認の件 ・第3回定時評議員会招集の件 |
| 2018年3月15日 臨時理事会 | 【決議事項】 ・第7回杉浦地域医療振興賞承認の件 ・第7回杉浦地域医療振興助成選考委員1名選任の件 |
| 2018年5月16日 理事会（決議の省略の方法による） | 【決議事項】 ・第7回杉浦地域医療振興助成実施の件 |
| 2018年7月12日 第6回定例理事会 | 【報告事項】 ・業務執行状況報告の件 |
| 2018年12月13日 理事会（決議の省略の方法による） | 【決議事項】 ・2019年度（第5期）事業計画書及び収支予算書承認の件 ・第8回杉浦地域医療振興賞審査委員及び諮問委員並びに第8回杉浦地域医療振興助成選考委員選任の件 ・株式会社スギ商事の定款変更に関する同意の件 |

(9) 評議員会

当事業年度に開催した評議員会は、以下のとおりです。

| 開催日 | 目的事項 |
|---|---|
| 2018年3月15日 第3回定時評議員会 （報告・決議の省略の方法による） | 【報告事項】 ・2017年度（第3期）事業報告報告の件 【決議事項】 ・2017年度（第3期）計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 ・理事3名選任の件 |
| 2018年12月25日 評議員会（決議の省略の方法による） | 【決議事項】 ・2019年度（第5期）事業計画書及び収支予算書承認の件 |

以上

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しておりません。

2019 年 2 月

公益財団法人杉浦記念財団